

自然学習講座

テーマ：木の実で昆虫クラフトを作ろう

日時：令和7年10月25日(土)午前10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人

受付開始：令和7年9月22日(月)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和7年10月2日(木)まで電話で受付し、応募者より抽選。



公園内の木の実や枝などを観察し、オリジナルの昆虫クラフトを作りま

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
 ※ 作品を持ち帰る袋をお持ちください。
 ※ 小学3年生以下は保護者同伴。

イベント・ガイドウォーク

第11回 かわせみフェスティバル 10月19日(日) 10時~15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミ調査の報告や、国立科学博物館自然教育園などによるポスター展示。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス
 水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口
 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 (金61系統)
 水元かわせみの里下車 徒歩1分 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和7年 9月20日

(通算第222号)



水元小合溜の生きもの:212

キバラヘリカメムシ

カメムシ目ヘリカメムシ科

全長 11~16mm

時期 4~11月

ちょっとカラフルなカメムシ

名前の由来となった黄色い腹部が特徴的で、ニシキギ科の植物の果汁を好みます。水元かわせみの里の野草園でもマユミやツルウメモドキの葉・果実でよく見られます。

匂いは出るけど・・・
 臭くない!かも!

本種も外敵を警戒する時や襲われた時に匂いを出す

のですが、その匂いは青りんごのよう

だと言われます。他にも、ほのかに甘く感じられる

匂いを出す種類もいたり、カメムシの匂いは種類ごとに様々です。



臭腺孔

この穴から匂いを出します。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



1
9/13 カワセミ 水元かわせみの里に毎日のように飛来する。9月に入り、なわばり争いはほぼ見られなくなった。



2
9/4 カルガモ 水辺のふれあいルーム前の岩場で3羽が見られた。とまり木の下で休んだり、水草を食べたりしていた。



3
9/15 ハラビロカマキリ ちょっと珍しい褐色型の個体。木の橋の手すりの上で通行人を警戒して常に身構えていた。



4
9/13 オオホシカメムシ 水元公園ではアカメガシワの樹を好み、特に果実や葉の上でよく見られる。



5
9/13 セスジスズメ(幼虫) スズメガの一種で、水元公園では主にヤブガラシの葉や莖でよく見られる。



6
9/15 センニンソウ つる性の植物で、水元かわせみの里やその周辺の低木で、白い花をたくさん咲かせている。



7
9/13 ミソハギ 水元公園では小合溜や水路、池などの水際で見られる。花期は7~8月だが、まだ花が見られた。



8
9/15 クスクビボソハムシ クズの葉を好んで食べるハムシの一種。中国原産だが、今年は水元公園でも多く見られた。



9
9/15 チュウゴクアミガサハゴロモ(幼虫) 野草園のアケビに集団で見られた。お尻から出た蟻物質で外敵から身を隠している。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「日々の観察で気づくこと」のお話

8月から9月にかけて、水元公園ではクズの花が開花します。この花はとても良い香りがするので、私はそれが楽しみで、毎年この時期にはクズをチェックし、花を探しています。そうしてクズを見ていたところ、葉っぱに穴あきの虫食い痕が見られるものが多いことに気づきました。これはクスクビボソハムシ(8)という、クズの葉を食べるハムシの食痕です。一昨年くらいまではこういう虫食い痕はあまり見られなかった気がしますが、今年はあちこちで見られます。

また、野草園にあるアケビに、白い綿のようなものがたくさんついていることにも気づきました。この綿はチュウゴクアミガサハゴロモ(9)の幼虫がお尻から出さる物質で、本種は様々な植物に集団で汁を吸い、植物を弱らせる可能性が疑われています。

調べると、どちらも中国原産の外来種で、近年になって日本で確認され、その分布を拡大してきたそうです。まだ大きな食害問題の報告は挙がってはいませんが、今後の分布拡大によってどのような影響が生じるか、今後も注意して見ていく必要があります。

自然は、季節や年月だけでなく、人の影響(外来生物の移入など)でも変化してしまいます。そうした変化を知るためには、日々、身のまわりの観察を続けることが大切だと、改めて思いました。(小林)



ボランティア活動報告

キッズボランティア活動で、繭の糸とりを行いました！

8月24日、生きものの『糸』について学ぶ活動を実施し、カイコと、その原種とされるクワコの繭から糸をとる実験を行いました。繭が1本の糸で作られていること、その長さや頑丈さを体験し、生きものが作り出す糸の凄さや、その活用の歴史について体感してもらいました。



はじめに、カイコやクワコ、繭の特性などについてレクチャーしました。



座繰り機（ざぐりき）を使って、実際に繭から糸を巻きとりました。



時間がなく、繭1個分もとれませんでした。それでも大分とれたので、今回はここまで。



今回の活動でとれたカイコとクワコの糸は9月末まで施設内で展示しています。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 9月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

9月の見頃

ニホンカナヘビ

全長約16~27cmほどで、その2/3を占める長い尾をもち、褐色で光沢のないカサカサしたうろこが特徴的です。藪や草地などにすみ、野草園では園路脇の茂みなどに隠れ、晴れの日には表に出てきて日向ぼっこをしています。

園路をゆっくり歩いていると、茂みの中をガサガサ逃げる音がして、それで見つけることもあります。



野草園マップ



見られるポイントはココ！